



ここまで分かった 救急医療でのBNP検査

座長

武田 聡 先生

東京慈恵会医科大学 救急医学講座 主任教授

演者

坂本 悠記 先生

日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野/
公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂総合病院 神経内科

小武海 公明 先生

東京慈恵会医科大学附属柏病院 循環器内科 准教授



日時

2016年**11月17日**(木) 12:00~13:00

会場

【第10会場】グランドプリンスホテル新高輪・国際館パミール 1階「瑞光」

〒108-8612 東京都港区高輪 3-13-1

ランチョンセミナーは整理券制です。

《整理券配布場所》グランドプリンスホテル新高輪・国際館パミール 2階 整理券配布所

《整理券配布日時》2016年11月17日(木) 7:00~11:20

※整理券がなくなり次第、配布を終了いたします。整理券は、セミナー開始直後に無効となります。

【共催】第44回日本救急医学会総会・学術集会

塩野義製薬株式会社／東ソー株式会社／株式会社 LSIメディエンス／

アボット ジャパン株式会社／シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社／

積水メディカル株式会社／富士レビオ株式会社／アリーア メディカル株式会社

ここまで分かった 救急医療でのBNP検査

講演1

坂本 悠記 先生

日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野／
公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂総合病院 神経内科

BNPは心臓から分泌されるホルモンであり日本発の心不全のマーカーであることは衆知であるが、我々は、脳梗塞急性期症例においてBNPを評価する研究を行った。

本セミナーでは、心原性脳塞栓症に潜在する心房細動や心不全がBNPに及ぼす影響について概説する。

講演2

小武海 公明 先生

東京慈恵会医科大学附属柏病院 循環器内科 准教授

呼吸器症状を有する救急患者の心疾患および心機能の迅速な把握は専門施設ではない限り容易ではない。しかし、それは治療方針決定の重要な要素であり患者の生命予後において重要であるため適切かつ迅速な検査とその活用方法が求められてきた。

そこで従来検査に加えて、心臓に特異的であるとともに優れた心疾患検出の感度を有する「BNP検査」を用いることが有用であることは海外では既に示されてきた。しかし、疾患傾向や救急医療システムが異なる本邦における報告は少なく、直面する患者に適用可能なBNPの目安値を示した論文は皆無であった。

我々は日本の救急医療システムの中でのBNPの意義を検証するとともに本邦でのBNPの目安値を初めて算出したのでその一端を本セミナーでお話をしたい。本セミナーが救急医療におけるBNP活用についてフロアのご議論をいただくことを願うものである。